

第 51 回理事会議事録

1. 日 時：2018 年 10 月 26 日（金）午後 18 時 30 分～20 時 20 分
2. 場 所：東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F 四谷ブリッジセンター
3. 出席者：【理事 12 名】 細田博之、鳩山勝郎、浅越ことみ、伊藤直彦、
ロバート・ゲラー、齋藤陽子、清水康裕、寺本直志、
橋本公二、古川京司、山田和彦、吉田正
【監事 2 名】 成田秀則 正村祐一
【事務局 4 名】 清水映樹事務局長代行、大政哲人管理部長、
仲村篤志競技会事業部長代行、高野英樹普及事業部長
(理事現在数：13 名、定足数 7 名、本人出席 12 名)

4. 議事の経過及び結果

鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 50 回理事会議事録の承認について
議事録案を承認した。

第 2 号議案 職員（会員）の逝去について
以下の職員（会員）の逝去が報告された。
鈴木正人（会員番号 73662、10 月 7 日）

第 3 号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

吉田企画委員長より 9 月 12 日および 10 月 12 日開催の企画委員会について以下の報告があった。

消費税対応の件は、消費税率が変更された場合に連盟の支払う消費税額および連盟収支について試算を行った。その結果、消費税率の変更後も連盟主催競技会の参加料、公認料、および年会費を全て現状維持とした場合には、連盟収支は消費税率の変更の影響を受けて悪化し、黒字の確保が難しくなることを確認した。25 年間にわたり現在の価格を維持してきた連盟主催競技会の参加料であるが、来年度に消費税率が変更された場合にはさらなる金額の維持は困難であり、参加料の値上げはやむを得ないものと判断した。

予算の件は 10 月の企画委員会で検討を開始した。

会員管理や MP 計算などのメンテナンスが必要なソフトウェアの状況および継続性については 11 月に確認を行う。

吉田企画委員長より消費税対応について以下の提案が行われた。

来年10月に消費税率の変更が行われる場合の連盟の対応は、ナショナル、リジョナル、およびセクショナルの連盟主催競技会の各参加料を来年10月より1日2セッションあたり1人各500円ずつ値上げし、ウィークリー、ローカル、CCG、IMPの各公認料の上限、公認料率、年会費、およびクラブ会費はこれまで通りに据え置く。ただし、来年10月の消費税率の変更のタイミングで連盟主催競技会の参加料の値上げを行ったあとは、その何年後か先に消費税率の変更が再度行われたとしても連盟主催競技会の参加料は長期維持することを前提とする。

以上の企画委員会の提案については、検討の結果これを承認した。2019年度のHAND BOOK、BULLETIN、およびHPで消費税対応に関する告知を行うこととした。

2. センター協議委員会

山田センター協議委員長より9月11日開催のセンター協議委員会について以下の報告があった。

センター側の委員に連盟の消費税対応の方針を報告した。9月27日に開催された首都圏センター連絡会において連盟の方針を説明したところ、センター側から特段の意見は出なかった。

3. 人事委員会

齋藤人事委員長より10月7日に逝去した職員鈴木正人の死亡退職金および弔慰金について提案がありこれを承認した。

齋藤人事委員長より2019年4月採用を目標に職員の新規募集を実施する旨提案があり、これを承認した。

4. 代表選抜委員会

橋本代表選抜委員長より代表選抜規則および代表助成規則の改訂案が出され、検討の結果これを承認した。

橋本代表選抜委員長より第52回APBF選手権日本代表選抜試合への申し込み状況について報告があった。オープン、シニアの各1チームの代表指名、およびウィメン3チームの代表選抜試合への招待を承認した。

5. 競技委員会

寺本競技委員長より10月10日開催の競技委員会について以下の報告があった。

連盟主催競技会の全日程に参加できないチームやペアの申し込みについては参加者の全日程への参加を原則とし、主催者が認めたときに限り参加できることを確認した。2019年度のHAND BOOKの「競技会に参加するには」に記述する。

なお、予選と決勝がある競技会については、別の競技会であるため予選

だけ参加することには問題がないことを確認した。これについては従来通りである。

6. 普及事業部

高野普及事業部長より以下の報告があった。

10月2日に開催した紀伊國屋新宿本店でのブリッジ体験教室は年に1~2回のペースで継続していく。

第18回アジア競技大会についてはテレビ、新聞、ラジオで多くの報道が行われ、ブリッジの知名度向上につながった。

2019年度ユースプロジェクトの申し込み状況は昨年比13名増え、合計73名となった。

高野普及事業部長より APBF ユース選手権のガールズチーム、および世界ユースオープンチーム選手権のヤングスターチームのグレードⅢでの派遣について提案され、これを承認した。ユースの助成に関しては、募集要項の内容を規定の形で整理することとした。

7. 競技会事業部

仲村競技会事業部長代行より競技会事業部活動状況および資格獲得者の報告があった。

ゲラー競技会事業部担当理事よりナショナルディレクターWGの検討状況について報告があった。ナショナルディレクター試験の開催頻度を3年に1回とする提案があり、これについては11月の企画委員会で説明を行う。

8. 国際交流事業部

高野国際交流事業部長代行より、2020年秋または2021年春のYEH杯の日本開催について CHEN YEH 氏から依頼があったことが報告された。YEH 氏側と時期、会場、経費について合意した場合に日本で開催を行うこととし、その方向でYEH 氏と相談を進めることを承認した。

高野国際交流事業部長代行より8月に開催された第18回アジア競技大会および2022年アジア競技大会について報告された。2022年の同大会でのメダル獲得に向けた代表強化について、国際交流事業部および代表選抜委員会で検討を行うこととした。

山田理事より9月にオランダで開催されたWBFの会議について報告された。

9. 法人・管理部

清水事務局長代行より9月末時点の予算決算対照表、比較財務諸表、および月次収支実績について説明があった。

鳩山会長代行より四谷BCとの状況報告会について説明があった。

鳩山会長代行より以下の報告があり、検討の結果これを承認した。

監査の所要時間の増加を理由に、連盟に対する監査報酬額を年間 180 万円から 200 万円に引き上げたい旨新日本有限責任監査法人から要望があり、監事 2 名がこれを了承した。

第 4 号議案 その他の議案

1. 次回理事会開催について

次回理事会は 2018 年 12 月 21 日（金）午後 6 時 30 分に開催する。

平成 30 年 10 月 26 日（2018 年）

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 51 回理事会

代表理事 細田 博之

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 成田 秀則

監 事 正村 祐一